



平成 21 年 3 月 25 日

各 位

会 社 名：株 式 会 社 大 京
代 表 者 名：代表執行役社長 田代 正明
コ ー ド 番 号：8840 東証第 1 部
問 い 合 せ 先：執行役グループ広報部長 落合 英治
TEL：03-3475-3802

エンジニアリング事業の分社化（会社分割）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 21 年 6 月 1 日を期して、当社のエンジニアリング事業部門を会社分割し、当社の 100%子会社である株式会社扶桑エンジニアリング（以下「承継会社」という）に承継すること（以下「本分割」という）を決定し、同社と分割契約を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、本分割は、連結子会社と共同で行う簡易会社分割であるため、開示事項・内容を一部省略して開示しております。

記

1. 会社分割の目的

当社は、平成 20 年 11 月 7 日付の開示資料「子会社（扶桑レクセル株式会社）の合併に関するお知らせ」にてお伝えいたしましたとおり、平成 21 年 3 月 1 日付にて扶桑レクセル株式会社を吸収合併し、同社の住宅事業、エンジニアリング事業を承継しております。

このうちエンジニアリング事業につきましては、立体駐車装置事業およびプラント設備事業がその中心であります。とくに立体駐車装置事業に関しましては、その性能・品質が評価され、「扶桑の立体駐車装置」というブランドを確立し、当社グループ外からの受注も順調に増加するなど、業界大手の一角に位置する規模へ拡大してまいりました。

このたび、同事業におけるこれまでの成長の過程を踏まえ、独立した事業展開によって、「扶桑」ブランドによる事業推進体制を構築することが、より一層の競争力強化の観点から望ましいと判断し、本分割を行うものです。

2. 会社分割の要旨

(1) 分割の日程

分割決議取締役会	平成 21 年 3 月 25 日（水）
分割契約締結	平成 21 年 3 月 25 日（水）
分割の予定日（効力発生日）	平成 21 年 6 月 1 日（月）（予定）

（注）本分割は、当社においては会社法第 784 条第 3 項に規定する簡易分割の手続、承継会社においては会社法第 796 条第 1 項に規定する略式分割の手続によるため、株主総会の承認を得ないで行う予定です。

(2) 分割方式

当社を分割会社とし、株式会社扶桑エンジニアリングを承継会社とする吸収分割です。

(3) 分割により減少する資本金等

本分割により減少する当社の資本金等はありません。

(4) 分割会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

当社は新株予約権を発行しておりますが、本分割による取扱いの変更はありません。

(5) 承継会社が承継する権利義務

承継会社は、分割の効力発生日において、当社のエンジニアリング事業に関する資産、負債その他これに付随する一切の権利義務を承継します。

(6) 債務履行の見込み

本分割について承継会社が負担すべき債務については、履行の確実性に問題はないものと判断しております。

3. 分割当事会社の概要

(分割会社は平成20年3月31日現在、承継会社は平成21年1月30日現在)

(1) 商号	株式会社大京 (分割会社)	株式会社扶桑エンジニアリング (承継会社)
(2) 事業内容	マンション分譲事業ほか	立体駐車装置事業、プラント事業 ほか
(3) 設立年月日	昭和39年12月11日	平成21年1月30日
(4) 本店所在地	東京都渋谷区	東京都江東区
(5) 代表者の役職・氏名	代表執行役社長 田代 正明	代表取締役社長 山口 陽
(6) 資本金	32,063 百万円 平成21年3月25日現在	20 百万円
(7) 発行済株式数	(普通株式) 345,387,738 株 (優先株式) 88,598,144 株 平成21年3月25日現在	(普通株式) 400 株
(8) 純資産	113,201 百万円 (連結)	40 百万円 (単体)
(9) 総資産	464,733 百万円 (連結)	40 百万円 (単体)
(10) 決算期	3月31日	3月31日
(11) 大株主及び持株比率	オリックス(株) 40.22%	(株)大京 100.0%

4. 分割する事業部門の概要

(1) 分割する部門の事業内容

エンジニアリング事業 (立体駐車装置事業、プラント事業等)

(2) 分割する部門の経営成績

(単位：百万円)

	エンジニアリング事業 (a)	平成20年3月期実績 (b)	比率 (a/b)
売上高	7,642	株式会社大京(単体) 244,022	3.1%
		株式会社大京(単体)と 扶桑レクセル株式会社(単体)の合計 302,182	2.5%

(注) 上記のエンジニアリング事業の経営成績(a)については、扶桑レクセル株式会社の平成20年3月期実績におけるエンジニアリング事業の数値を、参考として記しております。なお、当該エンジニアリング事業については、平成21年3月1日付で扶桑レクセル株式会社を吸収合併したことに伴い、当社が承継しております。

(3) 分割する資産、負債の項目および金額

(単位：百万円)

資 産		負 債	
項 目	帳簿価額	項 目	帳簿価額
流動資産	5,280	流動負債	4,270
固定資産	551	固定負債	234
合 計	5,832	合 計	4,505

(注) 上記エンジニアリング事業の資産、負債については、平成21年2月28日現在における扶桑レクセル株式会社のエンジニアリング事業の数値を、参考として記しております。なお、当該エンジニアリング事業については、平成21年3月1日付で扶桑レクセル株式会社を吸収合併したことに伴い、当社が承継しております。

5. 会社分割後の上場会社の状況

(1) 商号、事業内容、本店所在地、代表者の役職・氏名、資本金、決算期等の変更はありません。

(2) 今後の見通し

本分割による連結業績に対する影響はありません。

以 上